

演題名：静岡県介護支援専門員協会の方向性

～会員実態調査から見えてきたこと～

所 属：静岡県介護支援専門員協会理事

職 種：身延山大学准教授

発表者：檜木博之

要旨

静岡県介護支援専門員協会（以下県協会）は平成 23 年度より、これまでの各地区の組織会員から、個人会員化することになった。これにより会員である介護支援専門員を中心とした運営がより一層求められるようになってきた。そこで、県協会の会員の現状を把握し、県協会に対する会員ニーズを明確にし、今後の協会運営の検討材料にするために、会員実態調査を行うこととした。

実態調査から明らかになった県協会会員の特徴として、40 代～50 代の女性で居宅介護支援事業所に勤務する介護福祉士取得者が多い、という結果だった。

また介護福祉士資格取得者で介護支援専門員の半数が経験年数 5 年未満であった。県協会として、介護支援専門員のスキルアップを図るのであれば、これらの層の介護支援専門員を対象とした研修内容が必要になるだろう。今回の会員実態調査から見えてきた会員の声、会員ニーズを踏まえて、協会運営を行っていきたいと考えている。